# 音楽科学習指導案

日 時 令和 5 年7月~8月実施 生 徒 札幌市立北辰中学校 第1学年 指導者 教諭 渡 辺 景 子

1. 題材 二部形式や強弱の変化を生かして表現を工夫しよう 教材「夏の思い出」(江間章子作詞/中田喜直作曲) 「青空へのぼろう」(中野郁子作詞/平吉毅州作曲)

#### 2. 題材の目標

「夏の思い出」、「青空へのぼろう」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、「夏の思い出」、「青空へのぼろう」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、わが国で長く歌われている歌曲に親しむ。

3. 本題材で扱う学習指導要領の内容

〔第1学年〕「A表現」(1)歌唱

- ア歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。
- イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。
  - (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり
- ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。
- (ア)創意工夫を活かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 [共通事項](1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素:「拍子」「旋律」「強弱」「形式」)

#### 4. 題材の評価規準

知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
知「夏の思い出」、「青空へのぼ	思「夏の思い出」、「青空へのぼ	態「夏の思い出」、「青空へのぼ
ろう」の曲想と音楽の構造や歌詞	ろう」の拍子、旋律、強弱、形式を	ろう」の歌詞が表す情景や曲の表
の内容との関わりを理解している。	知覚し、それらの働きが生み出す	情の違いに関心をもち、音楽活動
技 創意工夫を生かした表現で	特質や雰囲気を感受しながら、曲	を楽しみながら主体的・協働的に
「夏の思い出」、「青空へのぼろう」	想を感じ取って音楽表現を工夫	歌唱の学習活動に取り組もうとして
を歌うために必要な発声、言葉の	し、どのように歌うかについて思い	いる。
発音、身体の使い方などの技能を	や意図をもっている。	
身に付け、歌唱で表している		

# 6. 指導と評価の計画(4時間扱い)

<ul> <li>【歌う姿勢や発声を身に付け、4/4 拍子を感じて歌おう】         <ul> <li>○発声練習を行う(以後同様、省略)</li> <li>○「青空へのぼろう」を聴き、聴いた第一印象を交流する</li> <li>*元気 *明るい *行進曲</li> <li>○「青空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する</li> <li>*同じ歌詞が何回も出てくる *途中のリズムが難しい</li> <li>○「夏の思い出」も同様に行う</li> <li>*高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい</li> <li>○足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。</li> <li>○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)</li> </ul> </li> <li>② 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】         <ul> <li>○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略)</li> <li>○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。</li> <li>*音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしっかり休んでメリハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。</li> <li>○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。</li> </ul> </li> </ul>	時	「等と評価の計画(4時間扱い) ○学習内容 *生徒の思考、発言等	知·技	思	態
○発声練習を行う(以後同様、省略)         ○「青空へのぼろう」を聴き、聴いた第一印象を交流する**元気**明るい**行進曲         ○「青空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する**元気 **同じ歌詞が何回も出てくる*途中のリズムが難しい           ○「夏の思い田」も同様に行う***         **高低差が激しい**めったり**おだやか**言葉がはめにくい         ○屋路みや指揮をしたがら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。           ○展り返りシートを記入する(以後同様、省略)         ②「青空へのほろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。**音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。**休符をしつかり休んでメリハリを※スタッカート、テスートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。         ②「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。**「水芭蕉」のように何度も出てくる音葉をはっきり**文節の途中で切らない、○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する。**「店」の部分が目立つ**満り返すと曲にまとまりが出る。         ②「二部形式を生かして表現を工夫しよう」           ②と曲の共通点について整理する。**「店」のおけによいて確認し、効果を確認する**で「ありから」といの歌を聴き合ったりして検証する**で「あの部分が目立つ**満り返すと曲にまとまりが出る。         ②「主要して表し、ましい歌を聴き合ったりして検証する**で「あったで、これ、で、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	_		(세 1조	心心	[二]
○「市空へのぼろう」を聴き、聴いた第一印象を交流する *元気 *明るい *行進曲 ○「市空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する *同し歌詞が何回も出てくる *途中のリズムが難しい ○「夏の思い山」も同様に行う *高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい ○足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。 ○接り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る (以後同様、省略) ○「市空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *体符をしつかり休んで刈ハリを ※スタッカート、テスートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「木芭蕉」のように何度も出てくる「業をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じカロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *同じカロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *同じカロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが検まっている ○二部形式について確認し、歌ので試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「も」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「山」や「「コ」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「も」なの歌を確認する *「当」の変化を作出者はつけたのか、意図を想像する。 *「も」の変化を作出者はつけたのか、意図を想像する。 *「も」の変化を作出者はつけたのか、意図を想像する。 *「も」の違いと自立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する  *遊り上げた後、落ち着かせたい *音かな雰囲気だから「系は使わない ②演奏	1				
*元気 *明るい *行進曲  ○「青空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する *同じ歌詞が何回も出てくる *途中のリズムが難しい  ○「夏の思い出」も同様に行う *高低差が癒しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい  ○屋路みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。  ○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)  ② 【歌詞のが日录を理解して表現を工夫しよう】  ○接り返りシートを記入する(以後同様、省略)  ② 「歌詞のからで発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略)  ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしつかり休んで刈ハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。  ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について変流する。 *「水色素」のように何度も出てくる言葉をはつきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌で式したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  *「本色素」のように何度も出てくる *途中に達うメロディーが挟まっている  ○二部形式について整理する。 *「同じみだんでいて変流し、歌っを聴き合ったりして検証する。 *「助りの部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について変流し、歌っで試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「自、ずら」の出だしを、同じ発囲気で歌えるようにするには? *「音気えたい部分は「も」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  4 【独弱の変化を活かして表現を正夫しよう】  本 ○「青空へのぼろう」の規弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時晩の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「トリの違いを目立たせたい *元気な感じを相したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する * *盛り上げた後、落ち着かせたい *着かな雰囲気だから「系は使わない ○原族に、「夏の思い出」の強弱を確認する * *盛り上げた後、落ち着かせたい *着かな雰囲気だから「系は使わない ② (資養)  「足)  「現まり上げた後、落ち着かせたい *着かな雰囲気だから「系は使わない ② (資養) ② (フ) ② (フ) ② (フ)					
○「青空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する *同じ歌詞が何回も出てくる *途中のリズムが難しい ○「夏の思い出」も同様に行う *高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい ○ 屋筋みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。 ○ 振り返りシートを記入する(以後同様、省略)  2 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】 ○ 振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略) ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 * 音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしっかり休んでメリハリを淡スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 * * 木芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり * 文節の途中で切らない ○ 交流したことについて歌迎する。 * * 「同じスピールで表現を工夫しよう】 ○ 2曲の共通点について整理する。 * 「同し共正が、でかいて歌迎する。 * 「同しカロディーが何度も出てくる * 途中に違うメロディーが挟まっている ○ 二部形式とついて確認し、効果を確認する * 「り」の部分が目立つ * 繰り返すと曲にまとまりが出る ○ 表現の工夫について変流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する * 「り」の部分が目立つ * 繰り返すと曲にまとまりが出る ○ 表現の工夫について変流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する * 「自」の自然を確認する * * 「自」の音が合えるには? * 一番伝えたい部分は「ら」なので表えるようにするには? * 一番伝えたい部分は「ら」なので表えるようにするには? * 一番伝えたい部分は「ら」なので表現をで表えるようにするには? * 本部伝えたい部分は「ら」なので表現をで表えるようにするには? * 本部伝えたい部分は「もったり」 「曹空へのぼろう」の強弱を確認する * 下り」のを意識して歌う。また、なぜそのような時効の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 * 下り」の強いを確認する * 本的上げた後、落ち着かせたい * 未予かな雰囲気だから「系は使わない (演奏) ・ 「見」の思い出」の強弱を確認する * 本部しまで表現を記されている。 * 本語しまで表現を正式といる。 第2000年の表現を確認する。 * 本語の上げた後、落ち着かせたい * * 赤衣なの変化を確認する * 本語り上げた後、落ち着かせたい * * 赤衣なの変化を確認する * 本語り上げた後、落ち着かせたい * * 赤衣なのまのないので表現を表現しまれている。 * 本語の表によりにないる。 * 本語の表によりにないる。 * 本語の表にないる。					
*同じ歌詞が何回も出てくる *途中のリズムが難しい (「夏の思い出」も同様に行う *高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい ()足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。 ()扱り返りシートを記入する(以後同様、省略)  【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】 ()扱り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略) ()「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。*休存をしつかり休んでメリハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。()「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流しなる。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはつきり*文節の途中で切らない ()交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する。 *同じメロディーが何度も出てくる言葉をはつきり*文節の途中で切らない ()交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ()二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ()2曲の共通点について整理する。 *同じカロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ()二部形式とついて確認し、効果を確認する。 *「「カ」の部分が目立つ *機り返すと曲にまとまりが出る ()表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する ()4、第ので「青空へのぼろう」の強弱を確認する ()5、第ので歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはつきり出す  【 「強弱の変化を活かして表現を正夫しよう】 ()6 (観別の変化を活かして表現を正夫しよう) **環境の変化を活かして表現を正夫しよう】 ()6 (観別の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「「青空へのぼろう」の強弱を確認する ()7 ()7 ()7 ()7 ()7 ()7 ()7 ()7 ()7 ()7					
○「夏の思い出」も同様に行う     *高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい     ○足略みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。     ○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)      【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】     ○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る (以後同様、省略)     ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。     *音の長さ、リズムを生かして歌うよい。 *体符をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。     *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはつきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する     *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○一部形式について確認し、効果を確認する。     *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○一部形式について確認し、効果を確認する。     *「あ」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、弱って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証 する     *「「a」や「a」」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはつきり出す は弱の変化を活かして表現を工夫しよう 「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような 環境の変化を活かして表現を工夫しよう (観場の変化を活かして表現を正夫しよう) (観場の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを自立たせたい *元気な感じを出したい 同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する 接続して歌う。また、なぜそのような に思 は いっと は は は は は は は は は は は は は は は は は は は					
*高低差が激しい *ゆったり *おだやか *言葉がはめにくい ○足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。 ○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)  2 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】 ○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略) ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしっかり休んでメリハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌のて試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する 3 【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「「」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「「」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「」の部分が目立つ、意図を想像する。 *「」のでは、高さやリズムの変化をはっきり出す 4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時頭の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから「系は使わない ○「青空へのぼろう」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから「系は使わない ○「真になっていて変な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから「系は使わない					
○足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。 ○接り返りシートを記入する(以後同様、省略)  2 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】 ○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略) ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 * 体符をしっかり休んでメリハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはつきり * 文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  * 「本直無」のように何度も出てくる * 途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○1曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる * 途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「も」の部分が目立つ * 繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはつきり出す  4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時 強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい * 元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *虚り上げた後、落ち着かせたい * 静かな雰囲気だから「柔は使わない ○ 「再位置で強弱の変化を確認する					
<ul> <li>○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)</li> <li>② 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】</li> <li>○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略)</li> <li>○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。*音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。*休符をしつかり休んでメリハリを※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について変流する。*「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり*文節の途中で切らない。○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する。*同じメロディーが何度も出てくる*途中に違うメロディーが挟まっている○二部形式について確認し、効果を確認する*「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する*「a」や「a」」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには?*一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す</li> <li>4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】</li> <li>○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような暗弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。*「b」の違いを目立たせたい*元気な感じを出したい。「同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する*盛り上げた後、落ち着かせたい*静かな雰囲気だから「系は使わない。「夏の思い出」の強弱を確認する。</li> <li>※虚り上げた後、落ち着かせたい*静かな雰囲気だから「系は使わない。「夏の思い出」の強弱を確認する。</li> </ul>					
② 【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】 ○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る (以後同様、省略) ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する ・「同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について離避する。 *「向」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「も」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「「a」や「a」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時報の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから f 系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する					
短り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る (以後同様、省略)				155	
○張り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る (以後同様、省略) ○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。*休符をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する 3 【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証 する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す 4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 「「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時期の変化を活かして表現を工夫しよう 「「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時期の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから f 系は使わない ②演奏	2		知		
○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *体符をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証 する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない 反演 奏					
*音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。*休符をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 〇「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはつきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 〇2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから「系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する * 塩り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから「系は使わない			]		態
*音の長さ、リスムを生かして歌うとよい。*休存をしっかり休んでメリハリを ※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 〇「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 〇2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時頭の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する * 塩り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない		○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。	クシ		観察
※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。 ○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 *「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 ※同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する ※「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? ※一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 ※「b」の違いを目立たせたい ※元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する ※盛り上げた後、落ち着かせたい ※静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する		*音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 *休符をしっかり休んでメリハリを	]		振
* 「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり * 文節の途中で切らない ○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 * 同じメロディーが何度も出てくる * 途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する * 「b」の部分が目立つ * 繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する * 「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? * 一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 * 「b」の違いを目立たせたい * 元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する * 盛り上げた後、落ち着かせたい * 静かな雰囲気だから f 系は使わない 「夏の世で強弱の変化を確認する		※スタッカート、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。	$\stackrel{>}{\sim}$		り 返
○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する  【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する  技  ※盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だから f 系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する  友  (対 )  「有		○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。			り
3 【二部形式を生かして表現を工夫しよう】 ○2曲の共通点について整理する。 *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている ○二部形式について確認し、効果を確認する *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する  * 違う		*「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり *文節の途中で切らない			シー
○2曲の共通点について整理する。     * 同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている     ○二部形式について確認し、効果を確認する     * 「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る     ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する     * 「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには?     * 一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】     ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。     * 「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい     ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する     * 盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない     ○手の位置で強弱の変化を確認する     * 「身の変化を確認する		○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する			ŀ
○2曲の共通点について整理する。     *同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている     ○二部形式について確認し、効果を確認する     *「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る     ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する     *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには?     *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。     *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい     ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する     *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない     ○手の位置で強弱の変化を確認する     *「身ので変化を確認する	3	【二部形式を生かして表現を工夫しよう】	知		1.0
		○2曲の共通点について整理する。			
*「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような暗弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する  * なり上げた後、落ち着かせたい * をかな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する		*同じメロディーが何度も出てくる *途中に違うメロディーが挟まっている	)   		
*「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る ○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】  ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような暗弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい。同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない。 「事の位置で強弱の変化を確認する。」  「真奏」		○二部形式について確認し、効果を確認する			
する     *「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには?     *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】  ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような     強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。     *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する     *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する  友		*「b」の部分が目立つ *繰り返すと曲にまとまりが出る	Ì		
*「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? *一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】 本 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような時 強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ②手の位置で強弱の変化を確認する * 「友」 ② 「		○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証	\ \ \		
*一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す  【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】  本 〇「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような     強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。     *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい     ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する     *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない     ○手の位置で強弱の変化を確認する     友		する			
4 【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】  本 ○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような 時 強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。  *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する  *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない ○手の位置で強弱の変化を確認する		*「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには?			
本 〇「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような 強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する * 盛り上げた後、落ち着かせたい * 静かな雰囲気だからf系は使わない ○ 年の位置で強弱の変化を確認する 秦 ク		*一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す			
本 〇「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような 時 強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 *「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する * 盛り上げた後、落ち着かせたい * 静かな雰囲気だからf系は使わない ○ 年の位置で強弱の変化を確認する 秦 ク	4	【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】			
*「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい       観察         ○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する       技         *盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない       演奏         ○手の位置で強弱の変化を確認する       方々	本	○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような			
*盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない	時	強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。		思	
*盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない		*「b」の違いを目立たせたい *元気な感じを出したい		観	
*盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない		○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する	技	察》	
		*盛り上げた後、落ち着かせたい *静かな雰囲気だからf系は使わない		Ŷ D	
○表現の工夫について交流し、歌って試したり、聴き合ったりして検証する 歌 ジ シ コ		○手の位置で強弱の変化を確認する	奏	]	
		○表現の工夫について交流し、歌って試したり、聴き合ったりして検証する	歌	シ	
○歌い方の工夫について、ワークシートにまとめる。		○歌い方の工夫について、ワークシートにまとめる。	唱	 	
○題材の振り返りを行う		○題材の振り返りを行う	~	\ \ \	

※第2時~第4時は、生徒の振り返りシートや授業中の発言によって、順序を入れ換えて行っています。

## 7. 本時について(本時 4/4)

#### (1)本時の目標

強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲想を感じ取って音楽表現を 工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもち、歌唱で表している。

## (2)本時の展開

分	○学習内容・主な活動 *生徒の思考、発言等	◆評価方法・教師のかかわり
00	・発声練習を行う。2曲をそれぞれ通して歌う。	・前時までの学習で、理解が不十分な点
	○振り返りシートを用いて、前時の学習を振り返る。	がないか確認する。
	*二部形式の「b」では、どちらも今までとは違うメロディー	・これまでの学習と強弱について触れて
	で、奏法が違ったり、強くなったりしていた。	いる記述を紹介し、課題につなげる。
10	強弱の変化を生かして、2曲の違い(歌詞の様子、その曲らしさ)を表現するにはどのようにしたらいいのだろうか	
	○強弱の変化を明確につけることを意識ながら、「青空への	・「mf」「f」を作曲者はなぜつけたのか、そ
	ぼろう」を歌唱する。	の違いをどのように出すかについて問う。
	*「b」の部分はfを保つために休符でしっかりブレスする。	
	○「夏の思い出」の強弱記号の読みと意味を確認する。	・f は頭の上、mf はあご、mp は旨、p はへ
20	・手の位置で強弱を表したり、歌ったりしながら、強弱の変化	その辺りを指すよう指示し、音源に合わ
	を確認する。	せて手を動かす。
	*忙しい。 *最初の mp の設定が難しい。	<ul><li>手のグループと歌うグループで分け、見</li></ul>
	○2曲を比べながら強弱の変化の特長を見出し、歌い方の	たり聴いたりしながら、気づいたことを交
	工夫を考え、試す。	流する。
25	*「夏~」にfはない。全体的に穏やかに歌う。	・記号をつけた作詞者・作曲者の意図を
	*「夏~」の方が強弱の幅が広い。pp~mf をどれくらいで	想像するように促す。
	歌うか考える必要がある。	・考えた工夫について、歌って試したり、
	*「夏~」の歌詞に「夢見て」があるから、pp を使ったので	本当にできているか聞き合って互いを評
	はないか。優しくささやくように歌う。	価したりする。 ◆観察
	○歌い方の工夫をワークシートにまとめ、内容を交流する。	・「どのような感じを表現する(したい)
35	(例)「青空へのぼろう」は、「b」の部分の付点のリズムとfを生かして、元気に聞こえるように歌う。「夏の思い出」は、全体的に弱いが、強弱の幅が広いので、pp はささやくように、mf はのびやかに歌う。	か」、「どのように歌うか」を組み合わせて 記述するよう促す。 ◆ワークシート
	○ワークシートに記載した内容を意識して、「夏の思い出」を	
	歌う。	◆観察
45	○題材の学習全体を振り返る。	
	・これまでの学習で考えたことや身に付いたことを、振り返り	
50	シートに記入する。	

## (3)本時の評価

強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲想を感じ取って音楽表現を 工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもち、歌唱で表しているかを、観察、ワークシート、歌唱表現から 見取る。